

働き方改革推進事業【岡崎市】

個別事業費	1,014 千円
交付金額	476 千円

地域の実情と課題

本市における女性の労働力率は全国平均と比べて低く、全国よりも深いM字カーブとなっている。これらを解消するためには女性へ様々な形での就労支援と事業者への女性活躍推進、働き方改革推進の啓発・支援が必須である。

また、新型コロナウイルスの影響によりテレワークを導入した事業者もあり、デジタル人材の育成やテレワーク就労の整備など、必要性が高まっている。女性が就労を継続するためには、女性と事業者の双方に柔軟な働き方を推進し多様な労働モデルを提示する必要がある。

目的・目標

【目的】

市内事業者を対象にアドバイザー派遣を行い、女性の活躍支援及びワーク・ライフ・バランスの推進を行うとともに、新たな働き方であるテレワークについて事業者への導入と定着を支援する。

【目標】

- ・事業者調査においてテレワークを「導入している」と回答した事業所の割合:15% →17.2%
- ・情報誌の発行部数:7,000部 →7,000部

事業の特徴

市内事業者を対象に、個別にお悩みを相談できる体制として、①アドバイザー派遣事業を実施し、テレワークの導入のため、業務の棚卸や機器等の相談・支援を行う②テレワーク導入支援も相談体制を整えた。

③事業者向け情報誌の発行を行い、女性の活躍支援及びワーク・ライフ・バランスの推進を行った。

連携団体

- 岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会
岡崎商工会議所、連合愛知三河中地域協議会
岡崎信用金庫
- 愛知県

事業の効果

アドバイザー派遣回数は22回と市内事業者からの需要が高く、女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスへの取組に加え、変化する労働関係法令の改正に基づく情報提供を行うことができた。今後も女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスを多くの事業者が取り組んでいけるよう引き続き支援を行う。

今後の課題

テレワークの導入や就労環境の整備が未実施な事業者に対し、今後もアドバイザー派遣を実施し、職場環境の整備を支援していく必要がある。

働き方改革推進事業

市内事業者を対象に、アドバイザー派遣、テレワーク導入支援及び情報誌の提供を行い、女性の活躍支援及びワーク・ライフ・バランスの推進を行った。

岡崎市アドバイザー派遣事業

中小企業では、人手不足や業務多忙等の理由から働き方改革が困難な事業所が多い。市から専門のアドバイザーを派遣することで、事業所の働き方改革の推進を図った。

【派遣回数】

8団体 22回



事業者向け情報誌の発行

女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に関する情報を掲載した情報誌を作成し、市内事業者へ配布し、働き方改革の推進を図った。

【配布先】

岡崎商工会議所会報に同封 5,900部
その他関係各所 1,100部

